

◎押忍! 番長3

この春、大都技研看板の「番長シリーズ」に待望の最新作が登場します。「押忍! 番長3」は、ゲーム数管理だった「押忍! 番長2」とはゲーム性を一新。メイン小役であるベルを引くつど、ポイントが加算されていき、規定ポイントに達すると、対決演出→ARTへという展開になっています。新基準機の中では最高水準ともいえる出来映え。その内容をお伝えします。

A+ART (純増約2枚/G) 機で、基本的には、1セット40G+αのART「頂JOURNEY」と50G固定の擬似ボーナス「番長ボーナス」で出玉を増やす。



©DAITO GIKEN,INC.

ベルで打ち手をアツくする

本機はA+ART機で、コイン単価は約2.9円、ベースは50Gあたり約41G。ART初当たり確率は1/430.6～1/242.4、出玉率は98.2%～119.3%。

天井は、ベルを200回獲得すると、ARTに当選します。

■通常時、および対決演出

通常時はベルに当選するつど、液晶画面上の対決カウンターにベル回数をカウント。規定回数に達すると、対決演出に発展（対決演出確率1/82～1/71）し、勝つと、ARTに当選します。

ベルの規定回数の振り分けはモード管理されており、最上位モードであれば、7回以内に対決演出に発展。

対決演出は、番長シリーズおなじみの敵との連続演出で、基本的に2～3G継続します。勝てば、1セット40G+αのART「頂JOURNEY」（純増約2枚/G）か、50G固定の擬似ボーナス「番長ボーナス」（同）に当選。負けそうになっても、ベルやレア役を引くと、勝利への書き換え抽選が行われ、プレイヤーを引き付けます。

なお、レア役でも対決演出を抽選。レア役で対決演出に当選した場合、対決カウンターに貯まったポイントは持ち越されます。

■「頂 JOURNEY」

通常時の対決演出で勝利した場合

は、主にART「頂JOURNEY」からスタートします。

また、「頂JOURNEY」には、ループストック機能を搭載。これは「GODシリーズ」などでもおなじみの内部抽選機能で、ループし続ける限り、毎ゲーム、ARTのセットをストックしていきます。

消化中は、ベルを引くつど、対決カウンターにベル回数を加算。規定回数に達すると、対決演出へ発展します。

対決に勝つと、「頂JOURNEY」を上乗せ。さらに、そこでもループストック抽選し、自分は「頂JOURNEY」をいくつストックしているのだろうかという、プレイヤーの想像力をかき立てます。

■「番長ボーナス」

「番長ボーナス」には、シリーズおなじみの轟BB（チャンス告知）、薫BB（完全告知）、操BB（後告知）という演出の異なる三つの擬似ボーナスを搭載。いずれも、BB中に7がそろえば、「頂JOURNEY」をストックします。

ボーナス中に引いたベル回数は、ボーナス後、対決カウンターにまとめてチャージ。規定回数への道のりを一気に縮め、打ち手の心をアツくします。

さらに、「押忍! サラリーマン番長」でも登場した鏡とは、上乗せ特化ゾーン「絶頂対決」で対決。勝利するごと

に、「頂JOURNEY」をストックしませず（「絶頂対決」後は「番長ボーナス」に突入）。

そのほか、プレミアムボーナス「超番長ボーナス」（340枚を超える払い出しで終了）も搭載。

本機の市場導入は4月上旬から。販売台数は3万台+αの予定とのことです。

番長シリーズとして、ゲーム性がほぼ一新された感がある本機ですが、違和感なく遊技できます。

それに今までならば、期待度が低かった対決演出でも、ベルやレア役で一発逆転が期待できるのは魅力。「頂JOURNEY」の当選時や上乗せ時に、ループストック抽選が行われるのも楽しみです。

スペック面も含め、新基準機の中では最高水準と思える出来映え。主軸として活用していただきたい1台です。

PROFILE

糸柳達成 (いとやなぎ たつなり)

株式会社アテイン 代表取締役

関東老舗ホールで店長として新規・リニューアル含めて6店舗を経験。その後経営コンサルタントとして独立して10年。業界歴は27年以上。現在は、経営コンサルタントのほかにも、TV出演、コラム執筆、セミナー、集客企画などマルチな活動を行う。TwitterなどのSNSやニコ生などのウェブを使った動画配信による情報発信も（詳しくはitoyanagi.net参照）。